

## 令和 2 年第 1 9 回公安委員会会議録

日 時	8 月 6 日（木曜日） 自午後 1 時 3 0 分 至午後 4 時 2 0 分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員 小野委員長 下山委員 原委員 山本委員 高木委員		
出席者	警察職員 本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

### 第 1 聴聞等についての決裁

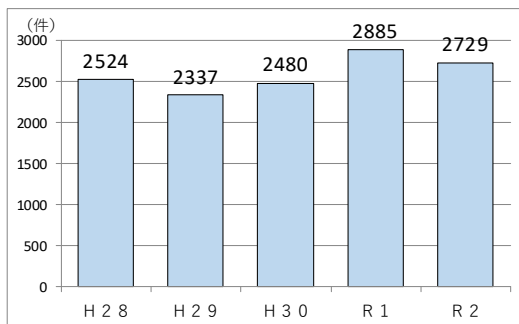
運転免許課長から、聴聞 4 件、意見の聴取 1 3 件について説明があり、決裁が行われた。

### 第 2 定例会議

#### 1 令和 2 年上半期の人身安全関連事案への対応状況について

(1) 人身安全関連事案の対応件数 ※ 数値は、各年 6 月末現在数

ア 総数



イ 内訳

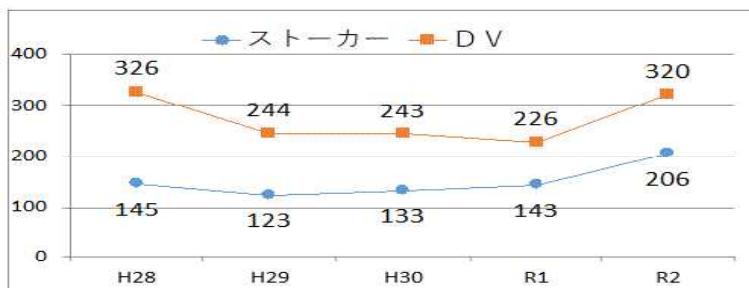
種別\年次	H28	H29	H30	R1	R2
対応件数	2524	2337	2480	2885	2729
ストーカー	370	404	386	473	468
DV	850	786	771	814	814
男女間トラブル	346	442	519	518	371
行方不明	307	252	307	397	431
高齢者虐待	29	29	43	43	47
児童虐待	51	56	55	107	160
障害者虐待	1	10	3	7	5
その他	570	358	396	526	433

※ 総数は、継続事案の件数を含む。

※ 種別の「その他」は、親子間トラブル、知人間トラブル、精神に起因するトラブル等

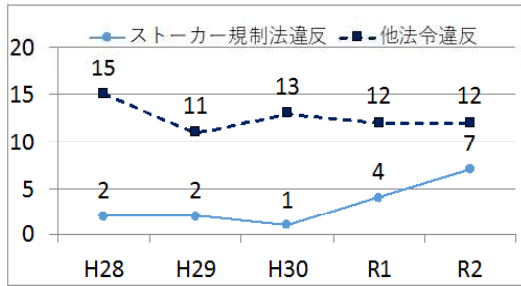
(2) ストーカー・DV事案への対応状況

ア 認知件数

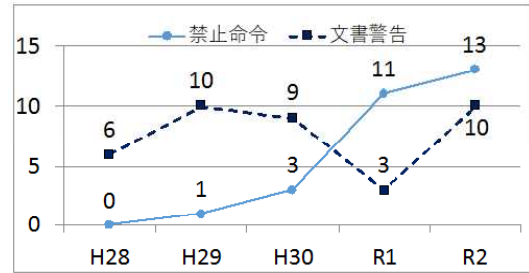


イ ストーカー事案

(ア) 検挙件数

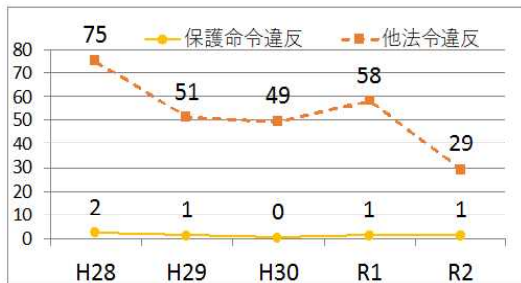


(イ) 行政措置件数

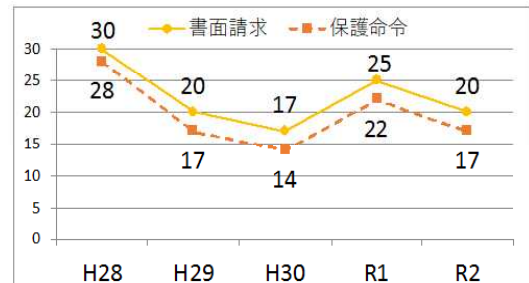


ウ DV事案

(ア) 検挙件数



(イ) 保護命令件数

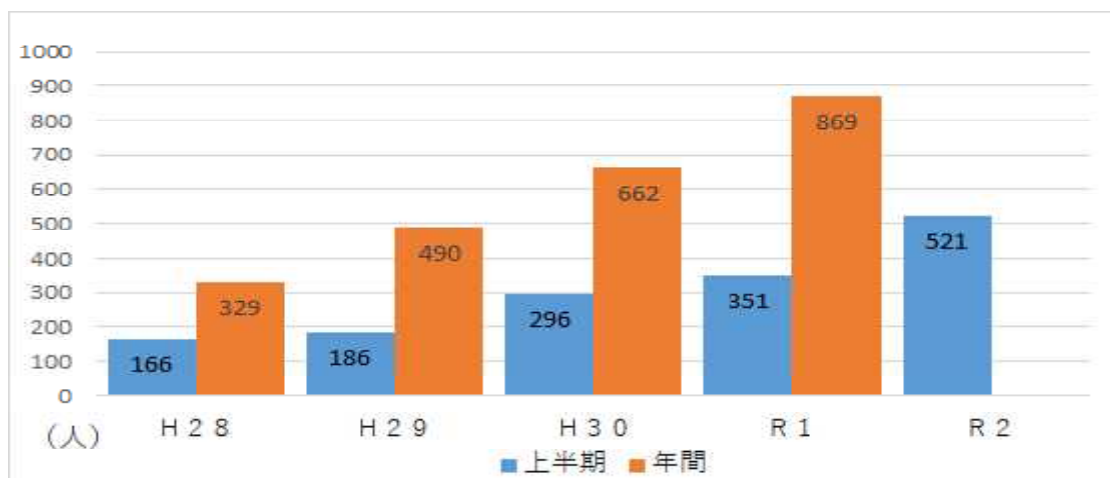


エ 検挙事例

熊本市内に居住する被害者の殺害を仄めかして所在不明となった石川県居住の行為者を、ストーカー規制法違反で通常逮捕するとともに禁止命令を発出した。(5月・熊本中央署)

(3) 児童虐待事案への対応状況

ア 児童相談所への通告児童数



イ 通告事由の内訳（虐待の態様）

	通告数	身体的虐待	性的虐待	（拒否・怠慢 （ネグレクト））	心理的虐待	うち 面前DV
R1上半期	351	61	4	35	251	237
R2上半期	521	107	9	62	343	297
増減数	170	46	5	27	92	60
増減率	48.4%	75.4%	125.0%	77.1%	36.7%	25.3%

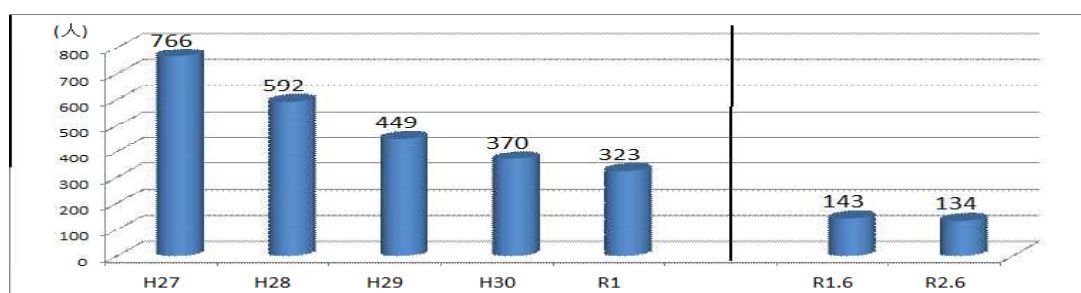
【委員からの質問等】

委員から「児童虐待件数の増加傾向を危惧している。日常生活において子どもに手を差し伸べるという機会が非常に少なくなっているのではないだろうか。地域の中で被害者となる子ども達を見守るようなシステムの構築に向け、関係機関と協力されたい」旨の発言があり、警察側から「児童虐待の通報において、近隣住民からの通報も増えてきている。引き続き、関係機関と協力してまいりたい」旨の説明があった。

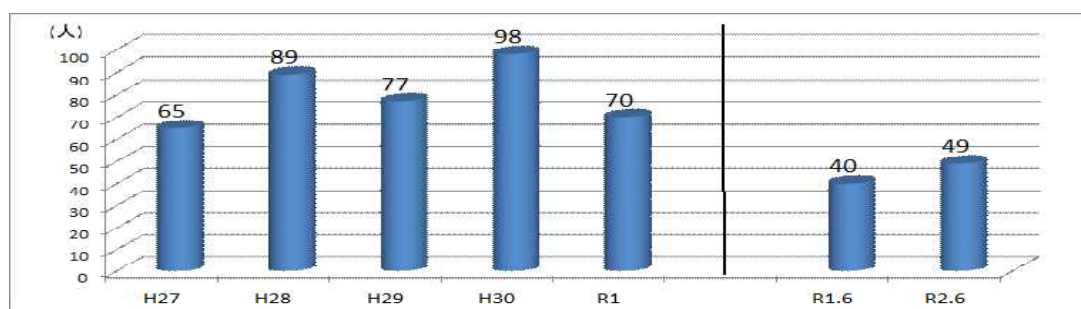
2 令和2年上半期の少年非行情勢等について

(1) 少年非行の概況

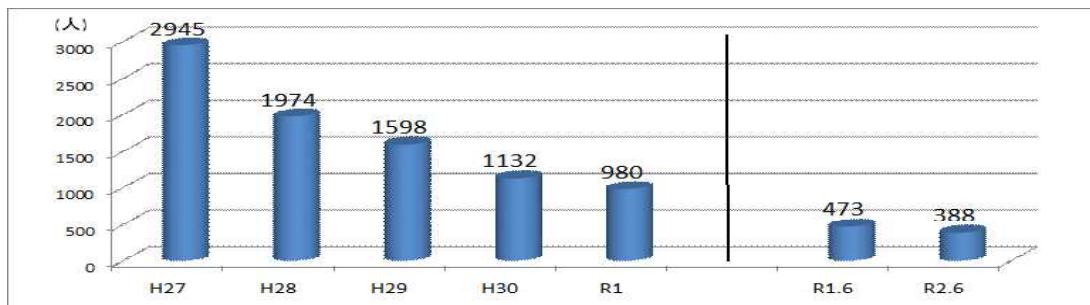
ア 刑法犯少年の検挙・補導人員



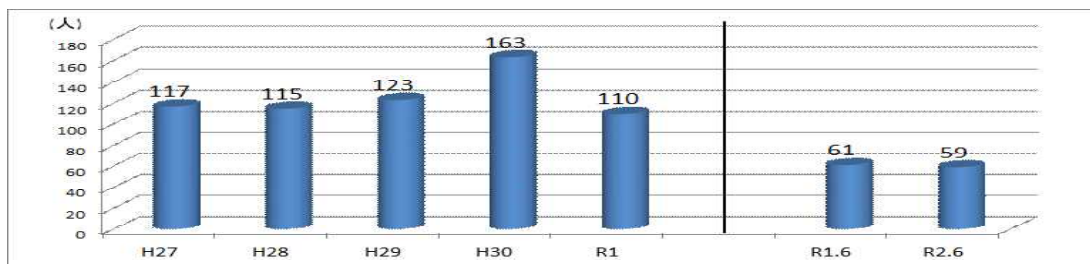
イ 特別法犯少年の検挙・補導人員



## ウ 不良行為少年の補導人員



## (2) 福祉犯の検挙人員



## (3) 今後の推進施策

- ア SNSに起因する被害防止啓発活動用のY o u T u b e 配信動画の作成
- イ 子供の安全を確保するための諸対策の推進
- ウ 非行少年を生まない社会づくりの推進

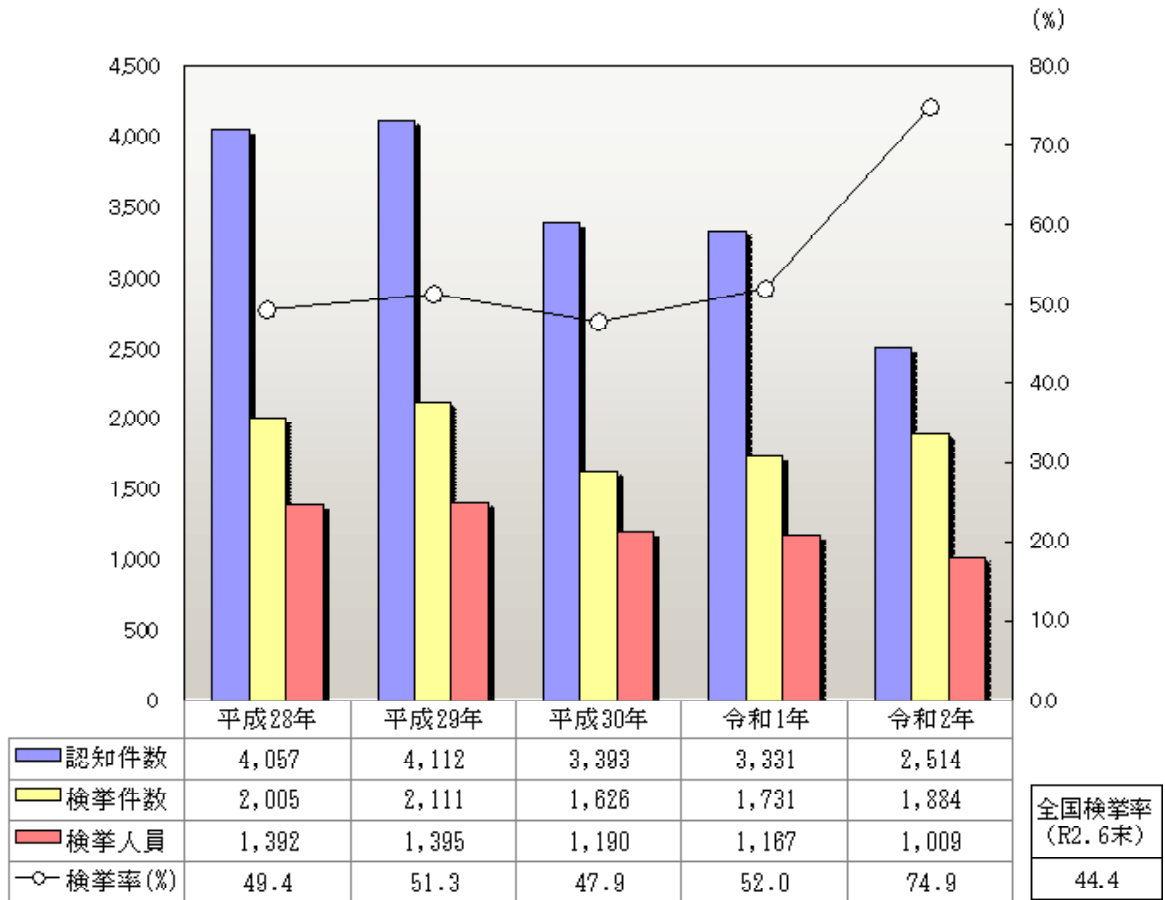
### 【委員からの質問等】

委員から「警察と学校が連携を図るような組織があるのか」旨の発言があり、警察側から「学校と警察の連絡協議会があり、会合を重ねるなど連携を図っている。また、スクールサポーターという制度があり、県警OBで構成するスクールサポーターを学校へ派遣し、学校側と連携した対応を行っている」旨の説明があった。

〈 次 ペ ー ジ に 続 く 〉

### 3 令和2年上半期の犯罪検挙状況について

#### (1) 刑法犯年別推移状況

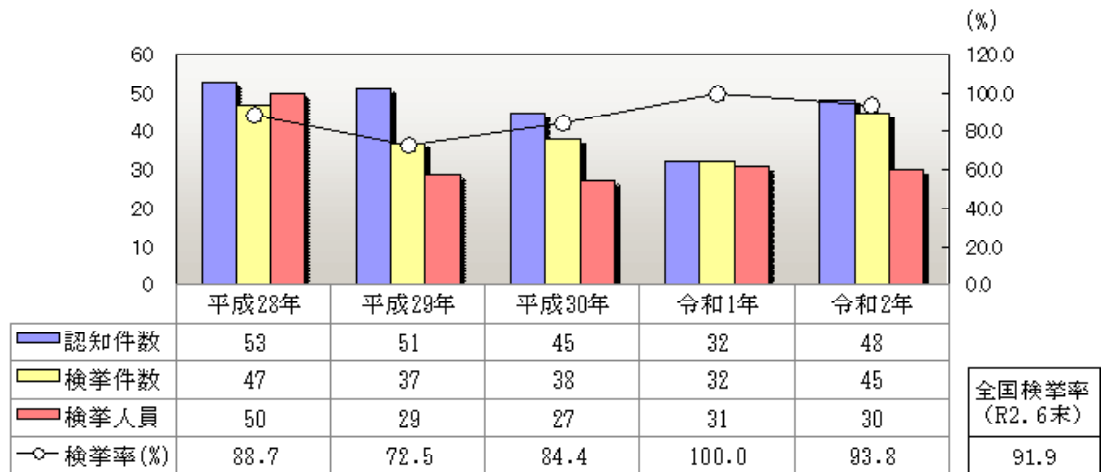


#### (2) 罪種別検挙状況

	検挙件数					検挙人員					検挙率					全国
	28年	29年	30年	令和1年	令和2年	28年	29年	30年	令和1年	令和2年	28年	29年	30年	令和1年	令和2年	
総数	2,005	2,111	1,626	1,731	1,884	1,392	1,395	1,190	1,167	1,009	49.4	51.3	47.9	52.0	74.9	44.4
凶悪犯	23	20	16	15	29	25	18	8	13	15	85.2	87.0	76.2	93.8	96.7	91.2
粗暴犯	308	318	299	304	239	329	315	325	320	251	81.7	92.7	87.4	89.4	88.2	87.2
窃盗犯	1,331	1,427	1,025	1,074	1,409	830	838	654	627	588	45.8	51.2	44.0	46.5	82.5	40.4
知能犯	100	92	77	109	52	41	62	46	68	40	52.9	43.8	51.7	73.2	55.3	51.6
風俗犯	40	50	49	38	29	35	25	26	27	22	80.0	78.1	92.5	105.6	93.5	84.7
その他	203	204	160	191	126	132	137	131	112	93	40.1	29.8	32.2	39.8	33.1	32.2

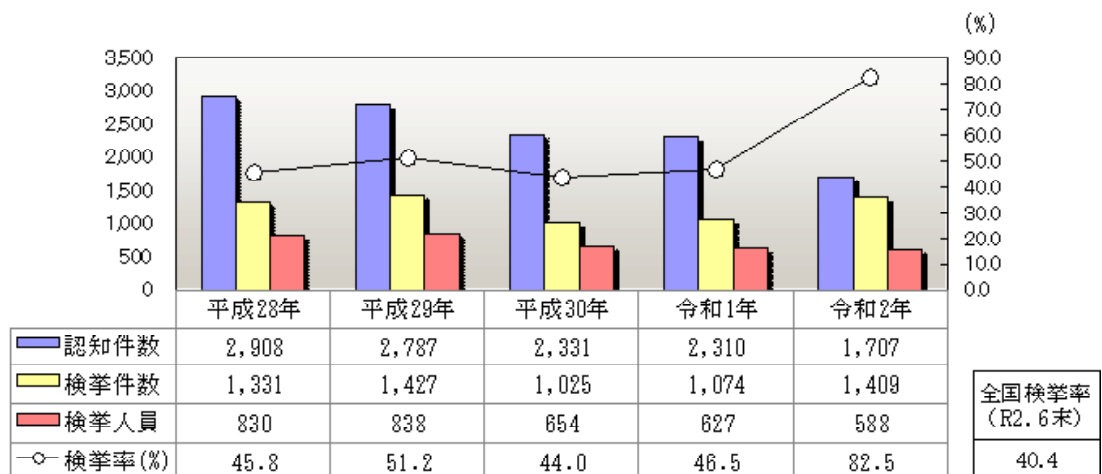
※（前年比増加を青、前年比減少を赤で表記）

(3) 重要犯罪の認知・検挙状況

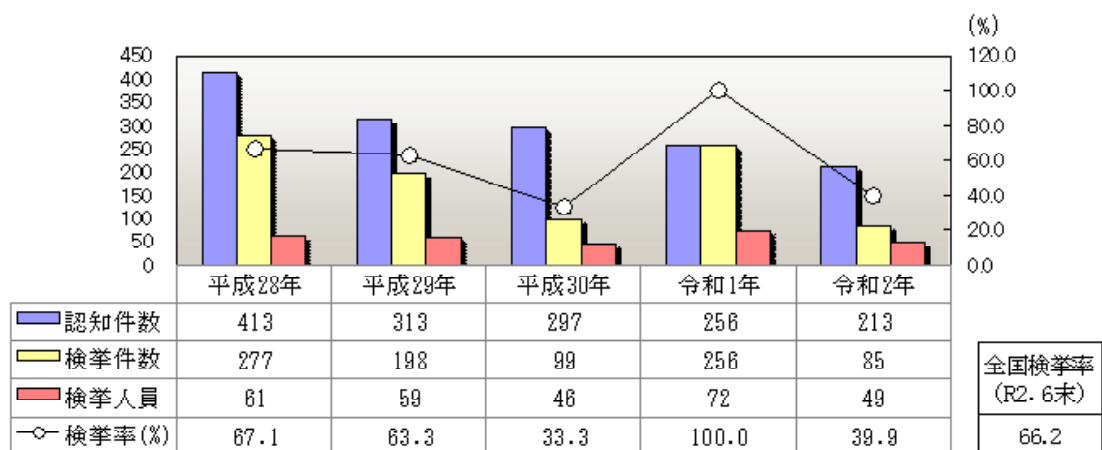


(4) 窃盗犯の認知・検挙状況

ア 窃盗犯全体



イ 重要窃盗犯

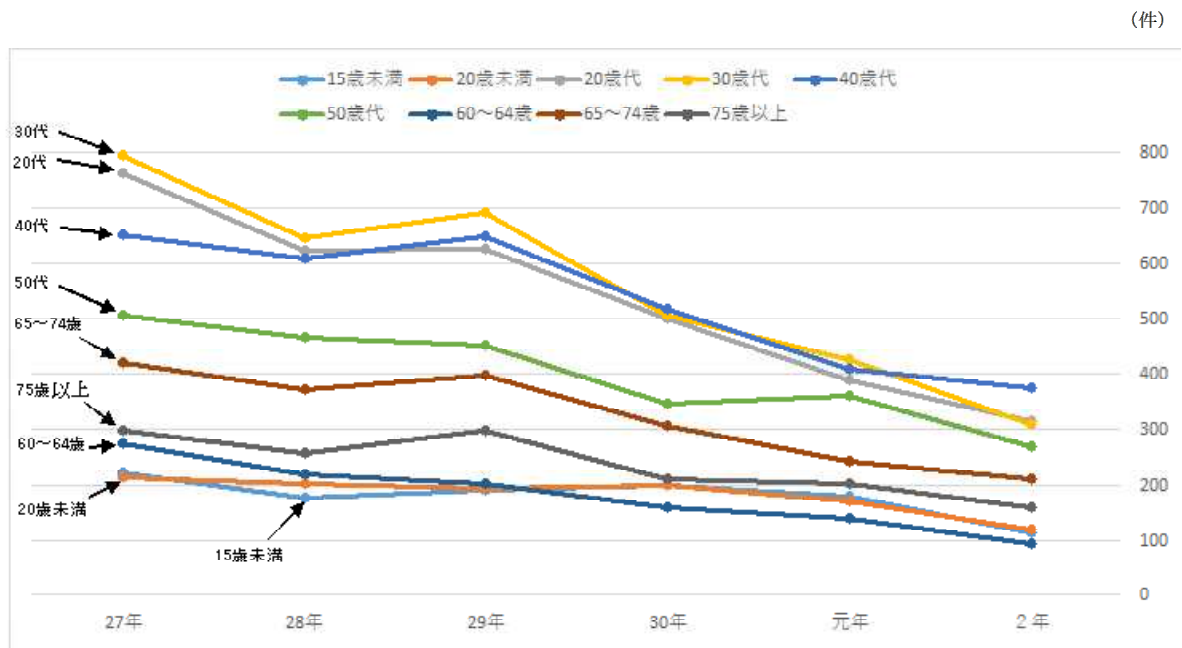


#### 4 令和2年上半期の交通事故発生状況等について

##### (1) 交通事故発生の推移

区分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	前年比	過去5年平均 (27～元年)	平均比
発生件数	6,640	6,151	5,786	4,784	4,104	-	-	5,493	-
上半期	3,218	2,754	2,882	2,310	1,984	1,549	-435	2,630	-1,081
下半期	3,422	3,397	2,904	2,474	2,120	-	-	2,863	-
死者数	78	67	73	60	69	-	-	69	-
上半期	37	36	37	25	30	22	-8	33	-11
下半期	41	31	36	35	39	-	-	36	-
負傷者数	8,536	7,929	7,369	6,081	5,092	-	-	7,001	-
上半期	4,111	3,540	3,669	2,926	2,489	1,945	-544	3,347	-1,402
下半期	4,425	4,389	3,700	3,155	2,603	-	-	3,654	-

##### (2) 年齢別死傷者数の推移（各年6月末）



##### (3) 状態別・年齢別死者数の推移（各年6月末）

区分	歩行中					自転車乗用中					二輪車乗車中					自動車乗車中					合計					
	28	29	30	元	2	28	29	30	元	2	28	29	30	元	2	28	29	30	元	2	28	29	30	元	2	
子ども（中学生以下）		1																				1				
高校生				1				1															1		1	
他10代	1	1	1											1	1							1	1	1	1	1
20～24歳		1				1	1	1			1				1							2	1	2		1
25～29歳															2	2						2	2			
30～39歳	1		1						1	1					1							3		1		1
40～49歳		1							1	1			2				1	1				1	2	1	3	
50～59歳	3			2		1	1	1			1	1		3	3		1					6	5	1	5	
60～64歳			1								2	1				3	2		1	1		3	4	2	1	1
高齢者																										
65～74	3	1	1	2	2	1		2	1		1				2	5	2	4	4	4	4	4	6	5	8	
75以上	8	12	3	7	8	2	3	1	1		1	1	2	1	4	1	5	4	1	14	17	10	14	10		
合計	16	17	7	12	10	3	5	4	2	4	3	5	3	7	2	14	10	11	9	6	36	37	25	30	22	

(4) 下半期の取組

- 事故実態に応じた総合的な交通事故防止対策の推進
- 「ひのくにピカピカ運動」による薄暮時対策の推進
- 飲酒運転指導取締り、広報啓発の強化

**【委員からの質問等】**

委員から「どのようなことが原因で交通事故となっているケースが多いのか」旨の発言があり、警察側から「高齢者の方が信号機のない道路を、(運転者から見ても)右側から左側に横断し事故となるケースが多い。本年上半期の死亡者22人のうち、10人が歩行中であり、その内8人が道路横断中、さらにその内6人が道路を右側から左側に横断中、事故に遭っている。ドライバーの漫然とした運転も事故の原因と考えられる」旨の説明があった。

**第3 報告・決裁等**

**1 令和2年夏の人事異動日程等についての報告**

警務部長から報告が行われた。

**2 苦情(R2No.5)回答の決裁**

地域課次席から説明があり、決裁が行われた。

**3 苦情(R2No.2)回答の決裁**

生活安全企画課人身安全関連事案対策室長から説明があり、決裁が行われた。

**4 要望(R2No.14)受理の決裁**

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

**5 要望(R2No.15)受理の決裁**

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。